

～令和4年度開催 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会に向けて～

「とうきょう総文2022」通信 第1号

平成29年6月、「令和4年度 第46回全国高等学校総合文化祭」の開催地として、東京都が内定しました。東京都での初開催に当たり、「高等学校教育の一環として、高校生が各種の芸術文化活動を全国的な規模で発表する場を提供することにより、文化活動への参加の意欲を喚起し、創造性の育成を図る」ことを目的とし、現在、その準備を進めています。

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会を多くの方に知っていただくため、「とうきょう総文2022」通信を発行し、内容や取組を御紹介していきます。

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会について

「文化部のインターハイ」とも称される全国高等学校総合文化祭の歴史は古く、昭和52年度、第1回の総合文化祭が千葉県で開催されました。その後、都道府県単位で持ち回りにて開催され、令和4年度の第46回の開催地として東京都が内定しています。

東京都では、令和4年夏、開会行事（総合開会式及びパレード）や19の規定部門及び4の協賛部門（予定）、国際交流等を予定しています。

【規定部門】

演劇	合唱
吹奏楽	器楽・管弦楽
日本音楽	吟詠剣詩舞
郷土芸能	マチグバント・バトトリグ
美術・工芸	書道
写真	放送
囲碁	将棋
弁論	小倉百人一首かるた
新聞	文芸
自然科学	



<2018信州総文祭総合開会式の様子>

昨年度、長野県で開催された2018信州総文祭には延べ約21,000人(約3,400校)の生徒が参加し、約100,000人の方が観覧しました。

【協賛部門】(予定)

軽音楽	茶道
特別支援学校	ボランティア

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会

「大会ポスター原画」「イメージソング(歌詞)」募集!

現在、大会をPRするための「大会ポスター原画」と「イメージソング(歌詞)」を大募集しています。皆さんの作品が、東京大会の広報活動に使われます。締切は9月6日(金)(必着)となっていますので、ぜひ夏季休業中に個人又は部活動や学校単位で取り組み、御応募ください。詳細は東京都教育委員会ホームページを御覧ください。たくさんの御応募お待ちしております。

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/content/national_culture_festival_upper_secondary_schools/poster_and_song_lyrics.html

*他県の作品は、以下のホームページを御参照ください。

2018信州総文祭(長野県) <https://shinshu-soubunsai2018.jp/>

2019さが総文(佐賀県) <https://sagasoubun.jp/main/3531.html>

他県のイメージソングを
聴けます!



2019さが総文
ポスター原画